



公益社団法人 甲府市薬剤師会 〒400-0857 甲府市幸町1-4-6 TEL055-236-5200 FAX055-236-5201

外部理事就任挨拶

(公社) 甲府市薬剤師会 志村 人士

このたび甲府市薬剤師会の外部理事を拝命し、大変光栄に存じますとともに、その責任の重さを感じております。

現在、薬剤師を取り巻く環境は大きな転換期にあります。在宅医療の推進、医薬品の安定供給、医療DXへの対応など、地域における薬剤師の役割はますます重要になっています。こうした時代においては、各地域薬剤師会がそれぞれの強みを活かしながら、相互に連携し、情報を共有していくことが不可欠です。

中巨摩東薬剤師会および山梨県薬剤師会での活動を通じて得た経験や知見を、甲府市薬剤師会の発展に少しでも還元できるよう努めてまいります。組織の垣根を越え、現場の課題を共有し、共に解決策を探ることで、県内薬剤師が一枚岩となって地域住民の健康に寄与できる体制をさらに強固にする必要があると考えます。また、甲府市での取り組みや現場の声を県全体へつなぐ架け橋となれるよう尽力する所存です。

会員一人ひとりが誇りとやりがいを持って活動できる環境づくりに、微力ながら尽力してまいります。今後とも、会員の皆様のご指導、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

外部監事就任挨拶

(公社) 甲府市薬剤師会 長沼 勝也

皆さんこんにちは、私は、令和7年6月26日に開催された甲府市薬剤師会社員総会において、外部監事に選任されました長沼勝也と申します。よろしくお願いいたします。

私は、長年にわたり、医療保険、年金保険等の行政運営に携わってまいりました。監事の職務は、法人の事業や財産の運営状況をチェックし、法人の透明性と信頼性を確保することにあります。力不足ではありますが、これまで培った経験を生かして甲府市薬剤師会の事業運営に貢献してまいりたいと思います。

現在、医療の高度化、人口構造の高齢化、医療資源の偏在の拡大など、地域医療を取り巻く課題は大変大きくなっております。地域医療の担い手の一人である薬局、薬剤師に求められる役割は多様化し、さらなる機能の充実が求められています。

こうした環境のなか、甲府市薬剤師会の活動が適切かつ効率的に実施され、市民の皆様の健康、安心・安全に貢献できるよう、同じ地域住民の立場、目線を持って活動してまいります。

中高生公開講座 開催報告

(公社) 甲府市薬剤師会 生涯学習委員会 委員長 小沢 慎一郎

令和8年2月1日、山梨県立図書館 1F イベントスペースにおいて中高生公開講座を開催いたしました。甲府市薬剤師会ではこれまでも毎年、中高生向けに公開講座を開催しております。薬剤師に興味がある皆様に、薬剤師とはどのような仕事か、薬剤師になるためにはどのような勉強が必要か、薬学部ではどのような生活が待っているか、卒業後どのような活躍の場があるのか、講師の先生からわかりやすくお話していただく機会を設けてきました。

当日は中高生だけでなく、小学生の方も参加していただき、計50名が参加しての公開講座開催となりました。今回の講座では「薬学部ってどんなところ？」というテーマに対して、東京薬科大学をご卒業され、株式会社メディセオ本社 DX 推進部にご在籍され、東薬会スキルアップ研修会講師でもある嶋村 琴乃先生、そして同じく東京薬科大学をご卒業後、みさき調剤薬局にご在籍され、甲府市薬剤師会理事・認定実務実習指導薬剤師も務める飯野 智先生のお二人にご講演いただきました。

嶋村先生からは「薬学部入学への決意と6年間で学んだこと」と題して、なぜ薬学部入学を決意したのか、入学してからどのような勉強をして、卒業後どのような仕事に就くか考え、なぜ今の仕事にたどり着くことになったのか等、6年制薬学部を卒業された経験をわかりやすく丁寧に参加された皆様に伝えて頂きました。薬剤師は薬局で働いているだけでなく、様々な分野で活躍することが出来ることが中高生の皆様にもご理解いただけたと思います。



お二人目の講師として登壇された飯野先生からは「実務実習ってなにをやるの？ ～調剤薬局のお仕事について～」と題してご講演いただきました。薬学部において大学5年生の時に実施される実務実習は大変重要であり、薬局11週、病院11週という長期にわたり実施されるものです。認定実務実習指導薬剤師として普段から実務実習を受け持つ飯野先生からは、実際の実習の内容をおさめた写真などを用いて、具体的かつ分かりやすく説明していただきました。参加された中高生の皆様は、薬学部では実務実習があることを知っている方もいらっしゃいましたが、具体的なお話を聞く機会はなかった方が大半だったと思います。また調剤薬局での仕事内容について、どのような心構えで患者さんに向き合っていくべきなのかについてもお話いただきました。



医薬品卸売業でご活躍される嶋村先生、そして調剤薬局でご活躍される飯野先生と、異なる分野に身を置かれるお二人の先生から講演いただけたことは、参加者の皆様にも薬剤師の可能性が多岐にわたるということをご理解いただけたかと思えます。講演終了後の個別相談会にも多くの方が参加してくださりました。今回の講演会に参加された皆様が疑問に思っていたことが解決し、期待を持って薬学部を目指していただけるようになれたのなら幸いです。今後も甲府市薬剤師会では中高生に向けたイベント開催を企画しておりますので、その際多くの方がご参加いただけるよう甲府市薬剤師会として努力していきたいと思えます。

☆委員会紹介☆ 甲府市薬剤師会医療保険委員会について

(公社) 甲府市薬剤師会 医療保険委員会 委員長 日向 利公

甲府市薬剤師会医療保険委員会の活動についてご紹介させていただきます。

◎ 主な活動内容

- ・保険調剤の指導・研修:適正に医療費を請求出来るよう、知識向上を図る研修会や指導、最新情報の発信を行っています。
- ・調剤報酬・介護報酬の改正対応:改正後速やかに研修会などを行い正確な請求を行えるよう対応しています。
- ・多職種連携の構築:病院、医院、介護施設などの担当者との情報を共有し利用者様の生活の質向上を図っていけるよう研修会などを行っています。
- ・災害時の対応:震災などで医療に困難が生じた際に対応する体制を備えています。

上記のような活動を行っている委員会ですがその中で今回は、2年前の能登地震の時に実際に活動した薬剤師会保有のモバイルファーマシーについてと従来の保険証に代わって必須となったマイナ保険証について取り上げてみたいと思えます。

※モバイルファーマシー

モバイルファーマシーとはキャンピングカーを改造して作り上げた「移動式の薬局」のことで災害発生時に薬局が機能不全に陥った被災地で停電や断水時でも独立して調剤と医薬品供給を行える車両です。防災意識の高まりもあり各地域薬剤師会や大学、民間企業での導入が進んできています。山梨県薬剤師会では2020年と比較的早い時期に導入しております。

最近では2024年1月の能登半島地震の際に現地に赴き調剤業務を行っています。市の薬剤師会でもモバイルファーマシーでの調剤実習を毎年行い災害時に対応出来るよう準備しています。



※マイナ保険証

2024年12月以降は現行の健康保険証が廃止となりマイナ保険証に統一されました。経過措置として2025年の7月までは従来の保険証も使用出来ることとなっていますが猶予の時間は多くありません。実際に病院や薬局ではマイナ保険証の提示がすでに求められています。マイナ保険証が無いと今後は全額自己負担となってしまう恐れもありますのでまだ移行がお済みで無い方は早目の手続きをお願いします。

※ 最後に

以上2つの話題を取り上げましたが

医療保険委員会は、確かな知識に基づいた調剤や介護施設、病院などとの連携を行う薬局、薬剤師を支援することにより地域の皆様の安全、健康を見守る活動を行っています。

☆イベント案内☆

2026年6月7日 「口からはじめる健康フェスタ」内で相談会の実施
リッチダイヤモンド総合市民会館山の都アリーナ

※年2回お薬相談会をしています

イベントにつきましては当会ホームページをご覧ください。



いきいきサロン・・・甲府市薬剤師会では、甲府市内の高齢者学級やいきいきサロンが行っている学習会へ薬剤師講師を派遣します。質疑応答含めまして1時間程度「くすりとの上手なつきあい方」についてお話させていただきます。医薬品の適正使用に関する普及啓発活動を行っています。

お申し込み方法 薬剤師講師派遣をご希望の高齢者学級・いきいきサロンのご担当者様は、甲府市薬剤師会事務局までお電話ください。その後お申し込み用紙をご送付いたします。

甲府市薬剤師会 事務局 TEL:055-236-5200